

せいしょう 青松

令和5年度 学校報 第2号

令和5年4月7日 発行
大仙市立角間川小学校

新任式の発表から

歓迎の言葉

六年 ○○○○○

全校児童を代表して新任の先生方に歓迎のあいさつをします。

菅原靖教頭先生、川尻昂先生、佐藤真理子先生、ようこそ角間川小学校にしてくださいました。

ぼくたちの角間川小学校は、今年で百四十九年を迎える、長い歴史のある学校です。全国でもめずらしい「木刀ふり」を行っています。毎週木曜日の朝の時間に、大きなかけ声を出して全力で木刀をふっています。全校みんなで心得を言う気持ちを引きしまります。みんなで心得を言ってみます。

(全校で「心得」を披露)

他にも、盆踊りやおはやしを地域の人から習っていて、伝統を受けつぐ活動にも取り組んでいます。

ぼくたちは、これから先生方と一緒に学校生活を送ることを楽しみにしています。どうぞ、これからよろしくお願いします。



始業式の発表から

チャレンジ四年生

四年 ○○○○○

四年生になってがんばりたいことが、二つあります。

一つ目は、全校テストで、三年生の時よりも百点を多くとれるようにがんばることです。漢字では、送りなをまちがえたり、はらいやとめををわすれたりしたので、細かいところに気をつけてがんばりたいです。計算では、たんいをわすれずに書くことと、かけ算の筆算で九九をせいかくにとなえることやくり上がりに気をつけて計算することとをがんばりたいです。スマイルノートに書いて練習をしたいです

二つ目は、友だちとなかよくすることです。いっしょに遊んだり話したりして、なかよくすごしたいです。やさしい言葉づかいで話して、なかよく遊びたいです。今よりももっとなかよくなって、みんなが笑顔になる毎日になりたいです。



五年生でがんばりたいこと

五年 ○○○○○

五年生でがんばりたいことは三つあります。

一つ目は、算数です。五年生になったらもっとむずかしくなるけれど、テストで百点を取れるようにしたいです。そのために、六十分間プリントとひまわりノート二ページを毎日やりたいです。

二つ目は、漢字検定六級に合格することです。五年生になると漢字の数も多くなって、覚えにくくなるけれど、読みも書きもしっかりできるようにしたいです。そのために、漢字テストでいつも満点がとれるように、自分でドリルを買って努力したいです。

三つ目は、委員会です。新しく委員会に入る新四年生にやさしく教えてあげたいです。そのために、五年生や六年生にやってもらったことを思い出して取り組みたいです。サブリーダーになるので、後はいのお手本になるようにしたいです。

